



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数..... 856人
医師..... 164人
コメディカル..... 692人
【管理栄養士紹介登録数 46人】
 平成22年9月20日現在

《目次》

- ◆「さあ糖尿病コントロールを始めよう (Let's take control of diabetes, Now.)」 調進一郎先生.....Page 1
- ◆研究会等の実施報告.....Page 2-3
- ◆研究会のお知らせ他.....Page 3-4

さあ糖尿病のコントロールを始めよう (Let's take control of diabetes, Now.)

当会理事 新川総合病院 調進一郎
 毎年、11月14日は『世界糖尿病デー』です。この日は、インスリンの発見によりノーベル賞を受賞したフレデリック・バンティング卿の誕生日を記念し、正式な国連デーのひとつとして制定されました。詳しくはホームページをのぞいてみて下さい。

【HP : <http://www.worlddiabetesday.org/>】



この日の前後には世界中で様々なキャンペーンが展開されます。日本では毎年、東京タワーや大阪城、ブルーにライトアップしたりします。私が務める神奈川県も横浜のマリンタワーやベイブリッジをライトアップしましたが、(予算の関係か) 光量がイマイチでもう一つパットしなかった

ような・・・。

今年のスローガンは「さあ糖尿病のコントロールを始めよう (Let's take control of diabetes, Now.)」。2型糖尿病のリスクファクターに関する意識を向上し、糖尿病発症予防に役立つ様にと様々な活動が計画されています。その一つとして特製の腹囲メジャーが世界中で配布される予定とか。毎年糖尿病協会主催でウォークラリー (今年は9月26日、葛西臨海公園) や、糖尿病週間講演会(11月13日、九段会館大ホール)が開催されます。

西東京地区でもスカイタワー西東京をブルライトアップしたり、10月30日に糖尿病予防講演会を開催したりと患者さん向けの啓蒙活動も各地で活発に行なわれます。

『世界糖尿病デー』までもうすぐです。皆様もご自分の勤務先で何かイベントを計画してみてもいかがでしょうか。

研究会等の実施報告

第2回次世代シンポジウム

西東京臨床糖尿病研究会の未来を語り合うタベ

平成22年7月31日(土) 国分寺Lホールにて開催されました。

当会理事 東京医科大学八王子医療センター 大野 敦

次世代育成プロジェクトは、本年度の新規事業として在宅・介護分野への働きかけを行うことになり、この方針を受けて、7月31日(土)国分寺市立Lホールにおいて第2回シンポジウムを開催しました。



第1部の「在宅医療の現状を学ぶ」では、まず内科阿部医院(大分市)の渡辺鈴子看護師長をお招きし、「大分LCDEの出前講座の取り組み」のタイトルで基調講演を伺いました。調理実習など実践的な研修を踏まえて質の高いLCDEを養成し、さらにそのLCDE



が持ち回りで、介護施設のヘルパー等介護従事者を対象に医療レベルアップのための「出前講座」に取り組む活動を紹介して頂きました。また症例提示として、きょうりつ北野訪問看護ステーションの酒井真知子所長から「在宅で糖尿病療養を行うケース紹介と今後の課題」を、訪問看護ステーションとんぼの堀間華世所長から「訪問看護ステーションにおける糖尿病ケアの現状」を、それぞれ報告して頂きました。



第2部の「在宅医療の未来を語り合う」では、基調講演と症例提示を踏まえて、51名の参加者が8つのグループに分かれてグループディスカッションを行いました。その後、各グループからの発表では、CDEの社会的役割、地域への貢献など講演に啓発された提案が目立ちました。次世代育成は大分も西東京も共通の課題であります。社会貢献という視点で視野を広げ、社会情勢・ニーズを捉えた活動作りにそのカギがあるのかもしれない。なお、今回のシンポジウムの内容につきましては、

は、昨年同様、記録集として年内に発刊の予定です。

第53回多摩北部医療センターとの糖尿病に関する診療連携の会

7月26日に多摩北部医療センターにおいて「第53回多摩北部医療センターとの糖尿病に関する診療連携の会」が開催されました。

今回の当番世話人は清瀬市・杉本医院・杉本正邦先生がご担当されました。

一演題目は、杉本医院・管理栄養士・坂間友美様より「検診後の生活指導によるHbA1cの推移」との演題でご講演頂きました。実際に、患者さんを生活指導する際、気を付けたポイントやHbA1cの推移を元に、より有効な生活指導の方法等について、議論を行いました。

二演題目は、多摩北部医療センター・看護師・福井美智代先生より、「当院における糖尿病療養指導外来」との演題でご講演頂きました。

院内での糖尿病チーム医療の活動内容や、外来での療養指導に関して、今後の課題と対策を発表頂きました。また、各演題において様々な職種から活発な意見交換が行われ、本会は盛況のうちに終了致しました。

第2回東京臨床糖尿病運動療法研究会

平成22年7月28日に立川市女性総合センターにおいて第2回東京臨床糖尿病運動療法研究会が開催されました。前回に引き続き180名余の参加者がありました。



代表世話人である東京医科大学第三内科植木彬夫先生のご挨拶の後、基調講演として北里研究所病院糖尿病センター、センター長の山田悟先生より「運動療法の理論と実践」の演題で患者さんが楽しく運動を継続できるような指導と実践法をわかりやすく、ご講演頂きました。

後半のパネルディスカッションでは当番世話人の、かたやま内科クリニック院長 片山隆司先生より、運動嫌いなメタボの患者、リバウンドを繰り返すダイエットの女性、ロコモティブシンドロームの高齢者など興味ある5症例挙げていただきパネリストの先生方から実際の臨床から得た役に立つ「裏技」指導を紹介して頂きました。

最後に次回当番世話人の緑風荘病院院長 酒井雅司先生より閉会のご挨拶を頂き大盛況のなか研究会は終了いたしました。



第4回南多摩糖尿病教育研究会

「高齢者糖尿病の1例」でディスカッション

当会評議員 多摩センタークリニックみらい 副院長 藤井 仁美

多摩丘陵病院・町田市民病院入院経験もある認知症・神経障害・腎症のある実際のケース（クリニックみらい通院中）を通じてディスカッションを深めました。

病院、クリニック、薬局それぞれからレポートし、その後グループに分かれました。症例は、下肢の火傷やうっ血性心不全などで入院を繰り返し、自宅は息子と妻はいるが介護者になりきれない高齢男性です。週4回のデイケアに朝食のおにぎり持参でインスリン注射を監督してもらい、昼食・入浴もカバー、週1回の訪問看護、通院（週1回、朝食とインスリン注射監督付き）で連携をとり、フットケアもカバーしあっています。塩分摂取・浮腫のコントロールが難しく、施設入所待ち状態ですが、古い農家で本人は自宅を離れたくないという思いもあり…人工透析しない、というのをとりあえずのゴールにという点で一致、当事者である医療機関、ケアマネージャー、さらには市の職員の参加も交え、リアルな討論になりました。



研究会他のお知らせ

◆ 直接事業 ◆ 間接事業 □ その他

◆ 第21回武蔵野糖尿病医療連携の会 （※お申し込みは不要です）

テーマ：インクレチン関連薬との上手なつき合い方

開催日：平成22年10月23日（土）17:00～19:00

場所：ザ・クレストホテル立川 4階 「桜の間」

参加費：医師1,000円 医師以外500円

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位(申請中)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

★日医生涯教育制度：2単位(申請中)(カリキュラムコード5.10.15.76)



研究会他のお知らせ

直接事業 間接事業 その他

第5回 南多摩糖尿病教育研究会 (※お申し込みが必要です)

開催日時：平成22年10月25日(月) 19:00~21:00

場 所：日本医科大学多摩永山病院 C棟2階 第2・3会議室

(京王相模原線「京王永山」駅 または 小田急多摩線「小田急永山」駅下車 徒歩3分 ※駐車場は有料です)

参加費：5000円

申込み：当研究会ホームページより申込用紙をダウンロード後、FAXにてお申し込み下さい。

FAX番号：042-362-1602

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

第11回糖尿病予防講演会 (※お申し込みは不要です)

テーマ：糖尿病の治療はどのように変わるか？

開催日時：平成22年10月30日(土) 14:00~17:35

場 所：前進座劇場(JR中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅下車 徒歩12分)

参加費：無料

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：2単位(申請中)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

第15回糖尿病療養担当者のためのセミナー (※お申し込みが必要です)

開催日時：平成22年10月31日(日) 9:50~18:00

場 所：多摩永山情報教育センター

(京王線「京王永山」駅 または 小田急多摩線「小田急永山」下車 徒歩5分)

参加費：5,000円

定 員：先着150名

申込み：同封の申込用紙にご記入のうえFAXにてお申し込み下さい。

FAX番号：03-3470-8209(宛先：日本イーライリリー(株) 山本)

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：2単位(申請中)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

第8回西東京糖尿病心理と医療研究会 ワークショップ開催 (※お申し込みが必要です)

開催日時：平成22年11月6日(土) 17:00~21:00

平成22年11月7日(日) 9:00~13:00

場 所：多摩永山情報教育センター

(京王線「京王永山」駅 または 小田急多摩線「小田急永山」下車 徒歩5分)

参加費：医師15,000円 コメディカル8,000円(宿泊は別途7500円にて承ります)

定 員：先着60名

申込み：同封の申込用紙にご記入のうえFAXにてお申し込み下さい。

FAX番号：042-362-1601(宛先：ノボルディスクファーマー(株) 中村・坂本)

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位(申請中)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：10単位

第4回多摩地区下肢救済・フットケア研究会 (※お申し込みが必要です)

開催日時：平成22年11月20日(土) 13:00~17:00

場 所：杏林大学医学部付属病院 大学院講堂 2病棟4階

(JR中央線「三鷹」駅 下車 バス仙川・昇華学園東・新川団地中央行「杏林大学病院前」下車約20分)

参加費：無料

申込み：同封の申込用紙にご記入のうえFAXにてお申し込み下さい。

FAX番号：042-246-6138(宛先：杏林大学医学部 形成外科 大浦紀彦)

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802号

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478